

演題「テレビ放送局の雑学」

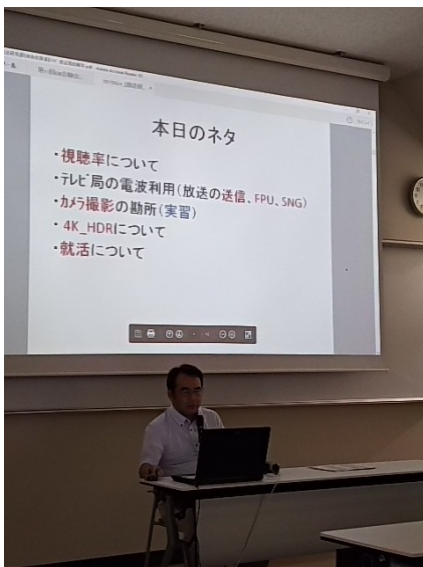
～電波利用からカメラ撮影と少し就活？～

日本テレビ放送網株式会社

技術統括局 技術開発部

三浦 勝志 氏

(1986年度 工学部通信工学科卒業)



1964年 川崎市多摩区 登戸病院で生まれました。今はこの病院も無いらしいです。幼稚園は 横浜市緑区 小机幼稚園 で2年保育でした。

1971年4月に横浜市金沢区 釜利谷小学校に入学。5年生で新校が出来て釜利谷西小学校 を卒業しました。文字(地名)は(PPT)に書いているかもしれませんが、横浜横須賀道路が出来、ガスト(釜利谷店)が有るので「釜利谷(カマリヤ)」という字はちょっと有名になったかもしれませんが。それまでは「どう読むの?」と言われていました。

そのまま金沢区にある金沢文庫のところの中学校を出て神奈川県 港南区にあるのですが野庭高等学校へ入学。実は今はこの学校は無く、横浜日野高校と合併して南陵高校となったのですが、

実は去年の放送だったか、TBSのドラマで吹奏楽部を扱った不良がいる学校(のドラマ)の実はモデルになった学校です。不良はいましたけれど、あのTBS(ドラマ)に間違いが有りまして、不良は吹奏楽やりません。〈 会場より笑い 〉

不良が居たのは事実ですが、あの辺は演出だったのかなとちょっと思っています。それで東海大学には1983年4月に入学して、当時の(学部学科の名前は)工学部通信工学科ですね。3年になるときに当時コンピュータサイエンスコースと物性コース? -ちょっと名前を忘れましたが- と情報通信コースというのに分けられていて、情報通信コースを選びました。研究室は(教授が)もう退任されていると思うのですがけれど電波研究室の森屋先生のところを出ています。まあ、ちょっと関係が有ったらあれ(先輩・後輩との縁)かなと(思っ)。それで、会社に入って30年という話をしたのでこの30年間何をしたかと言う話になると思うのですがけれど。

まず、入社した時にはマスターコントロールルームという表現をすると解り易いと思うのですがけれど、「マスター」・「マスター」と呼ばれているところに配属されました。簡単に言うと出来上がった番組にCM付けて「この番組の提供は」とか言って、「(CMを)時間に合わせてピッタリ出してくれよ」みたいな仕事です。とは言え、出していくのはこの当時からコンピュータでやっていますから、コンピュータに追われてちゃんと出すものをテストしたり、そういう様な事をやっていました。そのあとで、- 今日ちょっと放送研究



部の現役の方多いのでし実演でコツをお教えしようかと思っているのですがー カメラマンを2年半位やりました。有名な番組では、レギュラーでやったのは「おしゃれ30・30」と言う番組、その後「おしゃれカンケイ」になり、そんな番組(今は)もう無いですけど、そんな事をやっていました。その後ですね、「VE」という表現は皆さん馴染みないかもしれませんが「ビデオエンジニア」の略で、それは何かと言うとカメラの調整をしたりするので「調整」、当時固い言葉で部署としては「制作技術センター調整」などと言っていたのですけれども。まあ、カメラの調整はもちろんします。「アイリス(Iris)」絞りですね、調整して画が暗くなったり・とんだり、白くとんだりしないようにしたりするのでですけど、それよりも一番大事な仕事は設備を組む事です。実際、画像を中継する時に中継車を持っていきますけれど、中継車持って行っただけでは放送出来ないの、それにVTRを繋いだりだとか、スローモーションだとしたらスローVTRを出すオペレーションの席を作ったりだとか、その様な事をするのでビデオエンジニアという言い方が最近ではメインになっています。大昔はカメラの調子悪くてね。カメラを調整するおじさんということで「調整」なんて言われたのですが、今はあまり「調整」と言う人はいないかもしれません。そこで少し仕事をした後、次が皆さんになかなか説明し難いのですけれども「回線運用部」という名前の部署に居ました。これは何かというとテレビの番組と言うものは「スタジオで演技したものをそのまま電氣的にカメラで撮ってマスターコントロールルームからスカイツリーに信号送って電波発射して放送する」と大体思うのだけれど、中継の番組が有るじゃないですか、いろんな関東一円、場合によっては沖縄もですけど。そういったところからの信号をまず本社に持って来ないとしょうがないのですよね。まず、放送するために。出口の人にはさっき言った制作技術センターの人がやるのですが、それを受け取ったり、それを受け取る為の回線を手配したりとか、そんな様な事をやる仕事の主でした。この事は後程少し関係するので短く今止めておきますけれども、ここになんとずいぶん長いこといて、実は今ご紹介いただいた技術開発部に移ったのは去年の6月でしてまだ1年しかやっていない若輩者です。まあ、いわゆる技術研究系でかっこいい名前がついているのですけれども、「皆さんも5月の下旬に行ったかな？」砧にあるNHKの放送技術研究所の公開日。あそこはこの技術開発だけでビル建っているからね。我々は、10人足らずの部屋が有る程度です。とてもそう言ったものじゃないですけども、民間放送ですと何か国の為を率先してやるというよりは、-民間放送というのは簡単に言うと商業放送ですね- (ですので)コマーシャルを付けて、ある種の資本主義でお金儲けをしている面が有るのでそれに役立つもの、或は最近ですと「働き方改革」という事が有りますが、人間が少しでも長い時間働かずに結果が出せるように「便利な物を考えましょう」とか、そういうNHKの技研みたく「将来のテレビはこうなりますよ」とかそう大きな課題ではなくて「ささやかな工夫」みたいなことをやっています。それで30年たったという事です。

それで、今日のネタです。今日はこんな感じでお話ししようと思っているのですけれど、午後のこの時間眠くもなるのでちょうど真ん中ぐらいのところを実演の形で現役の学生の皆さんにもちよっと手伝ってもらってお話したいと思っています。

それではお話を進めます。

大変僭越ながら今日OBの皆さんで広告代理店系の方とかいらっしやいます？ いらっしやらない。あと、放送局の営業関係の方は？ 大丈夫ですか。

私先度から(お話ししている様に)技術なものですから視聴率の専門



家ではないです。専門家じゃないですけど私の給料はこれに基づいて出てくるところが有るので。

特に現役の皆さん放送研究部に入ったからと言って皆が放送の仕事をしたいと思っているとは僕も思いません。

僕らの(学生時代は)30年前ですら楽しく学生生活を送りたいから放送研究部に入っている人が、まあ大体7・8割。放送関係やっぱ仕事にもなったらおもしろいなと言う人が2・3割。実際に放送関係になった人は1割位と言うのが30年前。今どうかと言うのは後で懇親会の時でも教えてもらったら良いですけども。まあ、そんな時代なのですけど、今日私がお話しすることは現役の皆さんが今日1時間お話を聞くと、なんとなくテレビ放送局のことが少し分かります。そうすると、放送研究部じゃない他の文化部連合会の人でもクラスの仲間でも体育会の人でもいいけれども「俺は・私は放送研究部で色々研究していますよ」と言うのにちょっと役に立つかな。その触りの話をします。この視聴率という話をするだけでもの凄い時間がかかります。細かく言うと。例えば「視聴率20%」と言うじゃないですか、これがどういう意味かと言うのを現役の皆さんはなにか勉強しました？ こういう聞き方をすると分からないかとは思っただけけれど、「視聴率20%」と言うのはその時間帯に消えているテレビも含めて20%の人が見たという事。つまり、占拠率ではない。つまり、フジテレビと日テレが競っている割合ではない。視聴率と言うのは飽くまでも消えているテレビも含んでどれ位の人が見たかという事になります。今時ですと、テレビの無い家庭というのは殆ど無いのですけれど実は我々経営的に困ってきているのは若い皆さんはテレビを視ない。或は「持っていない」なんて人も出てきている事も知っています。

関東一円に大体ですが1,800万世帯位の、世帯なので人数ではないですけど、人数だと4,000万人弱と言ったかな？この位の人が、これ関東ですね日本全国じゃないですよ。どうしてこういう話をするかと言うと視聴率と言うのは「全国」と言うのは無いのです。必ずそれぞれの放送エリアで話をしなければいけないので全国の視聴率と言うものは存在しません。30年前はニールセンと言う会社も有ったのですけれども今はビデオリサーチと言う会社が一社独占してやっています。これが例えば月曜日から木曜日までの視聴率は金曜日に日本テレビに届きます。もちろん日本テレビだけじゃないですよ。広告代理店は当たり前、あとスポンサー様ね、ここにも届きます。金・土・日の視聴率が月曜日の朝届く形で実際放送することにより広告効果がどの位有ったのかはリアルタイムとは言わないですけども、まあ1週間以内には分かるという事です。

今ちょっとお話しした「視聴率20%」と言うのは消えているテレビ(を含むこと)だという話をしたのですが、だからもう気付いている人もいると思うのですがゴールデンタイムと言う時間は割と数字が大きい訳です。早朝とか深夜は数字が小さい訳です。どうしてかと言うとほとんどテレビ消えているわけです。だから、やたらゴールデンタイムだけ視聴率良いなと言うのは見ている人がそもそも多い。視聴率の定義で放送研究部ならちょっとは知っているのかもしれませんが、よく「三冠王」とか言うでしょう。放送局が。あれ何かと言うと「全日」と- 全日と言うのは1日中 -、あと「ゴールデン」と「プライム」と言うのが有って、例えばゴールデンタイムと言うのは19時から22時までの事を言うのですけれど。ではプライムはどこかと言うかと19時から23時なのです。事件・事故が有るとテレ朝が強い。なぜか。ニュースステーションがプライムだとドーンと数字取りますから。例えばこんなことなのです。「ゴールデン」と「プライム」はだいたいニアリーイコールなのです。なのに、これを二つと数える。では、全日と言うのは一日中かと言うとそんな事はなくて、朝5時から6時位からとにかく夜中は24時までです。だから、夜中1時位、25時とか26時に、学生などはよく視ている時間帯かもしれないけれど、あそこいくら視聴率とっても経営的には関係ない。ただ、そこで皆さんが「この番組面

白いね」となるとその番組を育てて、次の半年後とか1年後にこういう時間帯(ゴールデンタイム)に持って来る。と言う様なことのトライアルをやっている。だから、視聴率と言うのはだいたい三つに分かれていて、幸いなことに皆様たいま日本テレビは三冠王です。「全日」も一位、「ゴールデン」も一位、「プライム」も一位。「ゴールデン」「プライム」は(どちらか一位であれば)だいたい(両方)一位になるのですけれどね(時間帯が)似ているから。

あと大事な話としてはですね、今テレビ局が一番怖がっているのは何かと言うと、さっき私がゴールデンタイムは沢山のテレビがついていると言ったけれど、そのテレビが消え始めているのです。この言葉は放送研究部であれば恐らく覚えていた方が良いでしょう。「HUT」と言います。特に、技術以外で放送を目指す人は営業だろうが編成だろうが制作だろうが広告代理店であろうがこれが結構重要です。何かというと「Households Using Television」と言って、テレビがどれだけ点いているかという事なのです。ですから、ゴールデンタイムが「昔皆よくテレビ見ていた頃は」80%位。ほとんどの人が見ていたかもしれないけれども、これが段々下がってきて60%、今だと40%位になるときも有ります。つまり、長年かけて・・・テレビ点いてないのです、意外に。という事でHUTと言う言葉「総視聴・・・」なんて言ったら良いのかな、日本語でうまく言えない。ご免なさい。まあ、この言葉はそういう意味です。例えばですね、天気の良い3連休の中日HUTが下がる場合、皆泊まりで出かけたりする。でも、雨の日であまり人が出かけなかった日、或は日曜日、割とHUTが高い。明日から仕事だよ。そんなに遅く帰ってこない。帰ってきて何をするかと言うと「とりあえずテレビでも見ようか」という話です。

視聴率についてもうちちょっとだけお話すると、最近皆録画してみるでしょう。授業も有るし友達と飲みに行きたいし。そうすると、録画視聴率と言うのも加味し始めています。ただ、これはスポンサー様が嫌がるので余り公に利用はしていません。どうしてか分かるでしょう。ピッピッとコマーシャル飛ばしてしまうでしょ。だから、録画視聴率と言うものも1週間遅れで出るのですけれども、それ自身はあまり広告効果が高いとは広告業界は見えない。ただし、録画視聴率と言うのも番組のジャンルによっては多いものが有る。では、録画視聴率と言うのは定義として何かと言うと放送した瞬間から1週間後まで、7日後までに見た人だけです。と言うのは、その後9日後には発表するのです。だから、録画しておいて「わー！試験前で忙しくて2週間後に見た」と言うのはそこには反映されない。では、録画視聴率はどうやって採っているかと思うのですけれども、視聴率の装置はピープルメーターと言う装置で関東に噂では900台有るそうです。これまた噂では2年かけて総入替するそうです。月に何十台ずつ位だから24で割ればいいのか900を。それを割った形でビデオリサーチさんと言う会社さんが交換していくそうです。

噂で聞いた話ですが、これを設置されるとテレビは何チャンネルが点いているかはもちろん機械が分かれますよね。録画しているのがどうやって分かるのかと思ったら、これも恐らく合っていると思うのですけれども、確定じゃないが音の合致を見ているらしいです。音声信号がこの間放送したこれと合致しているからこれを録画しているものを見ているなという事。

官庁の発表によると(視聴率調査機は)4万年に1回しか自分の番は回ってこないそうです。だから、まず適当に「コンコン、『ビデオリサーチです。今度はテレビの視聴率調査機を置かせて下さい』」と言ってもテレビ局の人に当たる確率はそもそも低いし、もし当たりそうだったら、もちろん調査した上で止めるでしょうけれど。まあ、そんな話もあります。

あと、個人視聴率と言うのが最近出始めていて、それは何かと言うと、視聴率自体は世の中の的には3歳以下の人はちょっとさよなら。つまり、子供と言うのは4歳から、幼稚園の年中位なのかな？4歳から12歳・

小学校6年までをチャイルドと言う「子供」と言うエリアに、13歳から19歳を「ティーン」にこの中にもいるでしょう「ティーン」、次に男性と女性にここから上は分かります。「M」というのは男性ね、「F」というのが女性という事で15歳刻みになります。だから、「F1(エフワン)」数字が若いのが若いので例えば二十歳から34歳までを「F1」とか「M1(エムワン)」と言います。それで、今度は「F2(エフツー)」とか「M2(エムツー)」と言うのは35歳から49歳まで。それで、50歳以上はなんともう、すいません今日OBさんの中いっぱい居るのですけれども、全部一緒にいたいなことで「M3(エムサン) 層」と「F3(エフサン) 層」と言いまして年寄りの扱いされています。「という事は、あれ15年刻みじゃないじゃないか」と思いますけれど、こういう時はそうなのですけれど、視聴率調査会社はちゃんと65歳のところでも切っけていまして、「M3」層と「F3」層の若い方とそれ以上と言うものも出しています。何が言いたいかと言うとテレビの視聴率と言うのは誰に訴えかけたかと言う事が最近大事になってきています。どうしてか分かります？

皆さんインターネットやっていてあの広告すごいよね。この間こんなもん買っちゃったら、なにか似た様な物が芋ずる式に広告出るようになっていたりして。インターネットの怖い点はその人に合わせた広告を出してくれるところ。

ところがテレビはそれが苦手だった。誰が見ているか分からないけれどもこういう番組有りますよ。でもそれじゃだめだということで「最近はこの位の年齢層の人に向けて」。まあ、「こういう趣味の人」と言うのはなかなか難しいかも知れませんが。そんな様な事をやっています。

注：“ここから約15分間は会場でしかお聞きできない視聴率についての興味深いお話をして頂きました。”

さて、眠くなってきたはいるけれども、もうちょっとだけお付き合いください。ここから先は折角(ご自身が)技術なので技術の話をし少ししようかと思うのですけれど。

さて、現役の皆さんは工学部の人ちょっと手を挙げてもらっていい。

(現役学生挙手)

はい(有難うございます)。その中で電気系とかちょっと最近学部の名前忘れましたがでも通信工学とか電子工学と言う人だけ残って、機械とか原子力の人手を下げてください。

あんまり居ないのかな、今。

通信工学とか電子工学の人は居ないか？では逆に今手を挙げた人たちは航空宇宙とか原子力とか動力機械とか精密機械とか？今そういう名前ではないの？

《学生》:「光・画像(工学科)です。」

光・画像はなんとなく電子系ぽいけれど、光・画像？

《学生》:「電子じゃないのですけれど、光を通して・・・」

なるほど、結構細かい分野ですね。今そう言う時代なんだ。

ちょっと失礼しました。ここから先はちょっと電波の話をししないと、つまり私はもともと通信工学科だという事と会社でも電波伝搬関係をやっていたものですからちょっとそんな話なので、ではここは少し飛ばしますね。あまり専門的な人がいないので。

(PPTの画面を示し)

それで、これ何かというと、小さくて恐縮ですが関東の地図です。それで、ここにスカイツリーが有ります。皆テレビって「スカイツリーから電波発射しているものが基本的に見ている(もの)」と思っていると思うので

すけれど。

山の影とかになると電波が届かなくなるので、これバサッと地図見てください。ちょっと東京地区から離れたところに点がいっぱいある。これは、中継局というものです。つまり、あのスカイツリーからの電波がそのまま届かない人にはそこにもう一個放送局を作って/送信所を作って、そこからスカイツリーより強い電波ではないけれどそのエリアの人にテレビを視聴して頂くという事で、放送を法律用語でいうと「遍く」お届けする。遍く届けなければいけないというのはNHKが放送法で縛られているのですけれど、民放は実はあまり縛られていないのですけれど、時代の流れで「あの地区世帯数少ないからもういいよその位。将来が無い」と止めちゃう事も出来るのですけれど、まあそうはいつでも公共性も有るしという事で一所懸命頑張って、これなんと190も有る。191かな。スカイツリーから出して、ほとんどよ、ほとんどこの1,800万世帯の1,600万世帯位はスカイツリーから(の電波)で映るのですけれど、残り200万世帯位の方に見て頂くために中継局がなんと191も必要だと。つまり、機械であれば壊れるし、何年か経てば取替えなければいけないし、まあこういう事をやっているという事です。もう勘の鋭い人は気づいているかもしれませんが、だから地上も意外に設備にコストが掛かっているという事です。

だから、いま皆さん衛星放送結構見ていると思うのだけれど、衛星は良いよね。衛星から降ったら日本全国(電波が)行っちゃうからね。もちろん、人工衛星自体の値段が高いから利用料も掛かっているから単純に比較はできませんけれども、これ、雪が降って電線が切れれば電波止まってしまうから、停波してしまうから。そこを直しに行ったり、そういったことを考えると結構、191も有るとね、大変ですよ。だいたいチャンネルに拘らずテレビ朝日だろうがフジテレビだろうがテレビ東京も含めて、同じ場所に用意してみんなまで仲良くやっています。これ、大昔から日本テレビが担当しているのが群馬県とか、千葉県はフジテレビとか、あと茨城県はTBS、栃木県はテレビ朝日、神奈川県とか埼玉県の方はテレビ東京みたいに、もう何十年も僕らが会社に入る前からそういう区分けで担当制を引いています。

だから、何が言いたいかと言うと皆さんの地元がどこかという事で就職先をもしテレビ局を考えていたら「送信になったら自分の実家に近いところだったら便利だよ。」と言う話をしようと思ったのだけれど、ちょっと通信工学の人がいないから、あまりそちらの分野の人は少ないかもしれませんね。あまり話していると大変なので……。

今僕が話をした事を表にした物がこれです。スカイツリーという所からは10キロワットという、簡単に言うと強い電波です。かなり強い電波を出しています。それ以外の局は小さいと0.05ワットとかね、世帯がこれは650世帯、世帯が少ないところ、エリアが狭ければ0.05ワットと言う非常に弱い出力で出している所も有ります。東海大学の皆さんは平塚中継局を視ているケースが多いのでちょっと紹介します。なんと湘南平に有るあの平塚中継局は100万世帯をカバーしています。あそこは一番大きい中継局です。ただ、見てわかる通り中継局と言う大きさではないよね。ちゃんとした送信所みたくなっていると思うのですけれども、あそこは一応扱いとして中継局です。

この図だけちょっと説明しようかなと思っているのですけれどね。

実は湘南平は東海大学に近いからちょっとここで詳しく話そうかと思ったのですけれども、あそこは一大拠点になっていて、何が拠点かと言うとスカイツリーで送信している電波と、あと平塚で送信している電波は技術的に言うと同じ周波数で電波を発射しています。同じ周波数で電波を発射するとアナログだと混じって混信するじゃないですか、詳しく説明すると時間無いから簡単に、地上デジタル放送はシングルフリースターネットワーク(Single Frequency Network)と言って一つの周波数でネットワークを組みましょう。そうしな

いと中継局が有る度に別のチャンネルだと周波数が足りなくなってしまうから。この平塚中継局はスカイツリーと全く同じチャンネルで電波を出しています。

「え～、混信しないの？」それがですね、デジタルの世界「 Δt 」ちょっとだけ時間をずらしてです。見た目ではもちろん分かりません。ちょっとだけ時間をずらすという作業をすると、うまく行くと言う風に皆さん思ってもらえればいいです。そういう技術を使っています、地上デジタル放送。アナログでは出来なかった技です。それで、その為には何が悲しいかな、スカイツリーで放送しているものとプログラムが全く一緒なのだけけれど、そのまま放送した電波を受けてもう一回送信する事が出来ない訳ですよ。受けたものを出すともう時間軸の調整が出来ない訳ですよ、来たものより絶対遅くなるし、後は来た物を増幅して出力すると俗に言う「ハウリング」、(スピーカーが)「ピー」となる時有るでしょ。同じ事が電波でも起きるので。あの、送信所間回線7GHz位のマイクロ波を使って、— このスカイツリーから普通に500MHz位で地上デジタル放送ってやっているのだけれど —、それとは別に先送りしています。「先」と言ったって1秒も前ではいよ、「 Δt 」ほんのちょっと先にプログラムを送っています。そうすると、この平塚中継所ではそれを受けてタイミングを合わせて同じチャンネル・同じ周波数で電波を送ると北金目だろうが真田だろうが、スカイツリー(の電波)を使って、平塚からの電波を使っても混信せずに受信機は画が出る。と言う様な感じになっています。そんな技術があります。では、スカイツリーがどうしているかと言うと、実はさっき言ったCMを付けていたマスターコントロールから番組を送出するとスカイツリーに行くのですけれど、そこで平塚に送ったりするものはさっさと送ります。けれど、スカイツリーでは500MHzで先程の10Kwの送信機は頑張ってる待ちます。待つと言っても1秒も待たないよ、この Δt 待ちます。待つてから出すという事をやっていて、スカイツリーから発射する電波は一番遅くなるように調整しています。そうすることによって、同じ周波数を使った形で地上デジタルが受けられます。それで、ここに黒い矢印が有るのは、平塚と言うのはテレビの放送電波を出している為の拠点だけではなくて、実はよく見るとパラボラアンテナがいっぱい着いている。パラボラアンテナと言うのは地上デジタルのUHFのテレビ放送波ではないので、何をやっているかと言うと戸塚にも中継局が有ったり、秦野にも中継局が有ったり、南足柄・あと小田原・あと伊豆諸島ね、伊豆大島・あと逗子こう言う所はスカイツリーから直接(電波が)行かない場所に有って、一回湘南平の平塚中継局で受けた物をもう一回この人達(中継局)にあげています。つまり、平塚と言うのは100万世帯越える神奈川西部の人のサービスなのだけれど、それ以外に伊豆七島の皆さん、ここが潰れると一切見られなくなります。あと南足柄とか小田原とかまあっこれ逗子とかあと戸塚もね、戸塚もだから場所が悪いのだろうね、きっと、直接スカイツリーから来ないような場所に有るという事です。詳しい人、詳しく聞きたい人懇親会の時に興味が有れば言ってもらえれば(お話しします)。ごめんなさい先に聞いたらばあまり通信系は居ないと言う事なのでこれはこの辺にしておきます。

最後、これ(PPTの写真を示して)今年の技術の新入社員なのです。こっちはちょっと先生なのだけれどね。何を話したいかと言うと、さっき言った10Kwのスカイツリーで電波を発射する送信機これです。実際にこれが送信機になる。ちょっとスタイリッシュでしょ。あの、カッコ良いのですけれど、中には簡単に言うと増幅する、電波を強くする装置が入っているだけだからそんな複雑な機械じゃないのだけれど、これが送信装置です。ただ、1台では10Kw出せないの、1台は5Kwで5Kwの物が3台ここに置いてある。「あれ！足したら15Kwじゃないか？」常に使っているのはこの内の2台、それを組み合わせています。例えば、メンテする時に1台1台交代したりして、まあそんなやり方をしています。それで、これスカイツリーの中に有るのですけれど、これがどこに有るかは秘密です。酔っぱらったら喋るかもしれない。〈 会場より笑い 〉以上が送信関係

ですね。

もうちょっとだけお付き合いくださいね。電波の部分で。

先程、私がお話した「中継」、スポーツ中継色々有るじゃないですか。あの味の素スタジアムとか日産スタジアムとか - 最近ちょっと名前が変わっていたらゴメンナサイ - そう言う所から生中継する時に、とにかく本社に信号集めなければいけないので、私が17年間いたのはこの本社の中の部屋なのですけれど。ここで電波を - 素材の電波 - 要はテレビを皆さんにお届けする電波が500MHz位のUHFだとしたら、断然高い周波数の7GHzとか10GHzという周波数の電波で受けて、それにコマーシャルを付けたりとかして放送しているのですけれど、日本テレビはご存知のように新橋に有るので新橋まで電波が来ることはなかなか難しい。ですから、スカイツリーとの間は光ファイバーを引いているから、スカイツリーで受けてもいいですよ。あるいは、茨城の方へ言ったら筑波山の上にも有るので筑波山で電波をキャッチしてそこから別の電波で本社に持て来る事が出来る。あと、皆さんのお膝元大山ですね、大山にも山頂1300mの所にパラボラアンテナ受信が有ってそこに(向かって電波を)打ってくれば良いですよということで、そこで電波をキャッチしたやつを別の回線で本社に持ってくる様なことです。こういうことをやるのを「FPU」と言います。Field Pick Upという言葉の略なのだけれど、機械の名前というよりはフィールドからいろんな物を持ってくるよという意味だと思うのですけれど。まあ「FPU」という言葉が有ったら「あっ！素材を電波で伝送する装置だな」と思ってくれば良いです。では、こういう物を受信するときはどうなっているかということ、こうやってパラボラアンテナで電波が来る方向を遠隔操作で首を振らせますよ。360°、あと上下ですね振らせます。そういった装置が中に入っています。それで、東京タワーを例にちょっとご説明したいのですけれども、今この写真を撮っている側の人はここから中継したいわけですよ。日本テレビで放送したい。ところがこれ東京タワーなのですけれども、つい2年前まで受信するパラボラアンテナが結構下の方に有ったのです。下の方に有ったのでこのビルが邪魔して見えない。ところがこの上の方は見えるのもしここで受信してくれば中継が出来るというケースが有る。こういう様な説明です。例えば、あとこっちが日本記者クラブだったら今度は首相官邸ですね。首相官邸からも木が被ってここだと駄目だからこの上だったら受信できますよ。あと今度自民党本部前も下の方は隠れているけれども上の方に上がれば、要は特別展望台と言われている250mの展望台、東京タワーに有るので、そこより上なら(電波が)通りますよという事で役員に「とにかく下に有るやつ、上に上げさせて下さい。」とお願した時の資料を流用しています。電波を受信するのは見通しの範囲しか飛ばないのでテレビの放送のUHFと違って素材の奴はこういう苦労をしながら(アンテナを)上に上げている。べつに、上に上げるだけならいいじゃないかと思うけれども、ご存知のように上の方が便利な訳だから家賃が上がるわけです。だから「費用が上がるのですけれど、こうしないと中継しにくいのですよ。」という事をお金を持っている役員、会社の取締役とかに説明して「まあ、そんなに困っているのだったらちょっと家賃高くなるけど良いか。」と許可をもらっている。

まあ、これがFPUというものがこんな感じで伝送しているという事ですね。あと、電波物としては最後なのですけれどSNGという言葉聞いたことが有るかもしれませんけれども「Satellite News Gathering」。大昔の放送関係の本には(似た言葉で)ENGと書いて有るので「Electric News Gathering」。何かというと昔はフィルムで撮っていたのですよ。どっかでやる(中継)というのは。電気のビデオカメラってないから、あっ！ビデオカメラは有るけれども、ものすごい電気食う時代だから、外で撮影して持ってくるってフィルムの時代だったのですよ。それをあまり電気食わない小型のVTRとカメラに成った時に「ENG」と言うフィルムではなくて電気のニュースギャザリングです。ニュースを持ってきますよってことだったのですけれど、それに

かこつけて平成元年に日本で初めて民間が通信衛星上げたのですけれど、当時は宇宙通信という会社 SCCと言う会社と、あとJCSATかな？ 日本衛星通信と2社有ったのですけれど、今独占企業でJSATさらにCS放送をやっているスカパーJSATというのが有りますけれど、スカパーJSATという名前になって、人工衛星を一手に引き受けていてくれます。これを年間幾らというお金を払って、日本テレビだけではなくてネットワーク、日本テレビのネットワーク全体で借りています。南東の空にSuperbird-B2号機というのが有るのですけれど。もちろん肉眼では見えないですよ。3万6000Km彼方に有って、そこに電波を発射すると必ず日本中から中継できるという事で、このSNGというのが平成元年から使われているという話です。この辺は技術の人が居ないのでちょっと飛ばしますね。高額な費用でこんなに使っているのですけれど、もっとたくさんで使わないとコストが持たないので「技術革新で四つ同時に使えていたものを今度6個使えるように技術開発しました」の様な話の説明でした。この辺も通信の人が居たらと思っただけなので端折ります。

こちらへんは少し起きてください。あの、中継車の説明です。大型の中継車の説明は皆さんよく聞くとと思うので小型の中継車はこんな感じですよという事で(写真を示して)、日本テレビは実はですね残念なことに沖縄にネット局が有りません。日本テレビの番組というのは沖縄では原則視られません。ただ、番組販売という形をしているので、沖縄テレビ放送さんとか沖縄の他のネットワーク局が有るので、そこがこの時間帯は日テレの番組を放送したいと、番販という形で買うのですね。全く視られない訳ではないけれど、結構視られません。それで、そこにはですねニュースが有った時困ると言う事で、こう言う中継車があります。今私が説明した衛星ですね、人工衛星でSNGというのはこれで、沖縄どんなに遠くても2000Km、3000Kmだったとして、これ3万6000Km彼方の衛星に打つので、東京でそのまま受信して沖縄からの映像をすぐ視られる。その為の中継車。それで、ここにポール有るのは何かというと、さっき大山だとか筑波だとか東京タワーだとか高い所でないと電波分かりませんよとお話ししたと思うのですけれど、沖縄には日本テレビの放送局が無いからそういう施設が無いのだよね。だから、車持って行って車でポール上げて受信できる状態にすると、どこかから、繁華街から中継したりそこからFPUというもので、ここで受信してそれを今度衛星で東京に送るなどという事をやります。もちろんこの車を止められればそのまま衛星で東京に送る事も出来るのですけれど、必ずしもそんな所とは限らないのでこんな車が配備されていますよという事です。その説明、これだったのですよね。スカイツリーの様な東京タワーの様な受信をやりますよ、これで日本テレビまで沖縄から送りますよと言う様な話でした。こういった感じで番組中継をやっています。

ここからまあちょっと前半の部の最後なのですけれど、いろんな放送中継車が有るのですけれど、いろんな規模によって、ちょっと大きめでカメラ4台積んでいるタイプでこれは中型免許がいる大きさですね。8t超えているやつです。あとは、8t以下だから「8t中型」と言って平成19年以前に普通免許を取った人は運転できる。考えてみたら今の方は5t未満の普通免許になっているから中継車がほとんど運転できない世代になっているのだな一と言う風に感じています。ただ、このクラスから準中型というのが出来て7.5tまで、運転できる制度も出来たそうです。なにか、運送業界が18歳の就職先が無くなるとか、中型免許って二十歳からになるから、18歳から7.5tまで運転できるようにして貨物は運んでくれみたいな話も有るのですけれど、中継車はだいたい8t以下位ですね。5tはだいたい超えています。

最後。電波は最後です。僕説明したの「FPU」の話しましたよね。「SNG」話しましたね。ところがですね、今の時代こんな特殊な機械使わなくても、インターネット回線とか通信回線でも送る事が出来る時代になってきましたよという事でちょっと紹介しです。(PPTの画像が)小さくて申し訳ないのですけれども。要はスマホとかの回線ですね。それでも使えますよというお話です。生中継するときは一箇の回線ではだめなので、

KDDIのauだとかdocomoだとかSoftBankとかいくつかの回線を束ねて並列で送ってどこかがだめになっても他ので通信できるような装置を考えたりもし、そういう風に使っています。あとは夕方のニュースで使うのに今取材終わりましたみたいなものは別に急がないから普通のコンピュータのデータファイルにして、パソコンで普通に画像を本社に送るなどというやり方もしております。つまり、番組作るために色々外から信号を持ってくるのにこんなものが有りますよというお話をしました。

ここからは電気を点けて下さい。

それではですね、ちょっとご協力いただいても良いですか?《学生を指名》 渡辺さん。

渡辺さんちょっと(前へ)来てもらっていいですか。

あなたも見られた方が良いのでここにちょっと立ってもらえますか。この場面が見られた方が良いので。

【ビデオカメラをとりだし、映像をスクリーンに映し出す。】

あの、何を話したいかと言うと、皆さん映像制作します? こういうビデオで文化祭の時とかね。基本をちょっとお話ししたいのだけれど。

【モデルになった学生を映し出し】

これを「フルフィギア」というショット、FFと言います。頭のとっぺんをちゃんと空けて足を切らない。これフルフィギアで、こういうショットが一つの映像の撮り方です。イメージ的には足の下より頭の上がちょっと空いている位なのです。次のサイズは「ニーショット」と言います。膝をちょっと入れた位の。この位のニーショットってよく使うのは複数人居る時ね、この位の横にももう少し人が居た時に使ったりします。あと、は「ルーズウエスト」と言うやつですね、ウエストをちょっとルーズにした位。それから、「ウエストショット」まあ、この辺はあまり細かい事・・・、あと「バストショット」これもだいたいよくテレビで使われる手法です。皆さんこの、僕は何気で撮っているけれども素人は多分こんな画になってしまう。顔真ん中にして。これ結構間抜けて言われちゃうので基本的には「頭の上はあまり空け過ぎなく撮る事。」いうところに気を付けるとテレビ放送みたいな感じになる。

但し、ここから先、今度どうなるかと言うとアップですね。アップにした場合と言うのはこう撮るとかなり間抜けに見える。(モデルの学生に気遣っていただき) あっ! 可愛い! 可愛くは撮れるのだけれど、テレビ番組視ていてもアップを撮る時と言うのは頭の上は切っても顎の下はちょっと余裕を持っていたりしています。だから、どんどんアップにしていったときは、バストショットくらいまでは頭の上を空けていて良いですけれどアップにした時、クローズアップにした時は顎を入れる。顎を切らない。この位は気持ちです。これ、



頭をむしろ入れて、これ撮ると可愛いのだけれど、ちょっとこんな画は人間の生理的にちょっとおかしいかなとなっちゃう。という事をちょっと気にしていると良い。ただし、これわざとディレクター・演出家が後頭部入れます。これどうしてかと言うと、彼女が子供だったりとか、ちょっと可愛らしく撮りたい。(映像を示し)こうなると、カッコよくなっちゃう、普通の撮り方ではないのだけれど。可愛らしさをちょっと表現したい時にはわざとこうフレームにしたりする撮り方も有るから、画を一つ一つ撮るにあたって、こういうセオリーと言うか、そういう昔から先輩達が考えた基本原則が有るという事を知った上でやっていって貰ったら良いかな。それでももちろん、基本原則通りに必ずやらなければならない訳ではないので、ただ分かっている破るのと、知らなくて適当に撮るのとは違うので。ただ、本当に素人に有りがちな、この天を空けられたやつですね、この位撮るのだよね。真ん中に顔入れるのだけれど、実はテレビ放送見ても今の様に撮っている人誰も居ない。それで、なんで自分はうまく撮れないのかなという、少なくとも頭の上を余り空けない。

こうなっちゃうと窮屈になっちゃうから、ウエスト位のショットは必ず頭の上を空けた方が良いのだけれど、こんなに空けない。これ知っているだけでも結構違うでしょ。

では次に、今上下の話をしたので今度は左右の話をする。

(モデルになった学生に)どちらか横45° 向いてもらって良いですか。

このショット、(フレームの)真ん中に入れているのだけれど、なんとなく僕は気持ち悪いのだよね。皆気持ち悪いと思うかどうかはお任せしたいのだけれど、こうなるともっと気持ち悪いよね、なにか。

それで、テレビ番組視ていると必ずこういうショットのギャップをとる。

つまり、目線を空ける。向いている方角をちょっと空けるという撮りの方がバランスが良い。真ん中に入れるというのはバランス悪い。なんかこれだと前が窮屈なのだよね。「ちょっと！」そんなこんなする必要はないのだけれど、「ちょっと」目線方向を空けているだけでバランスのいい画になる。

それじゃ渡辺さん反対方向45° に。これ、なんか気持ち悪い。真ん中でもまだ気持ち悪くて、「ちょっと」、ちょっと目線方向が空いているだけで、バランスが良い絵になりますよと言う話をしました。

ただし、これもセオリーなだけだから、テレビドラマなんかわざとこうやって撮ったりするわけですよ。つまり、渡辺さんが今恋人にふられちゃって今凄くこう人生崖っぷちになっているって言うのを、変な気持ちを表現するときにわざとこういう手法で撮ったりとかする時が有ります。まあ、今の話をちょっと、あのもう番組制作の本とか読んで解っていれば、そういうのに書いて有るかもしれませんが、知らない人が居るかと思って、ちょっとそれが解ると良いかなと思って。それで、渡辺さん有難う正面向いて下さい。あとですね、私が今言っているのはスーパーインポーズが無い場合、字幕で色々こう字がいっぱいスーパーされる時とは違う場合のドラマとかの話をしていて、ニュース番組って実はこんな様になります。ニュースのワンショット。これはこの画だけだとひどい画なのだけれど、この左上とか右上にいっぱいスーパー入るじゃない。何とかがどうのこうのとか。だからそうすると、スーパーインポーズがこの頭とか顔にかかるといやだから、「以上現場からお伝えしました」なんてどうでもいい記者が映ったりする時にはそんな感じじゃないかなと思います。だって、見てる人あの記者の顔なんかみたくないよね。もっと取材したVTRでオフコメって言うのだけれど、話だけ耳で聞こえればいいので「この記者の顔を見てもね」って言う風に思う時有りませんか？ まあ、そんな話をちょっとしようかなと思いました。

第2部終了しようと思います。

渡辺さんは何年生ですか？

《学生》:「2年生です」

もう一人二年生いますか、男性でも女性でもいいです。ちょっと来てもらっていい。(学生一人前に出る)
ちょっとね、四人になってもらうから出来るだけくっついてここに来てください。
じゃ、次に2年生以外何年生でもいいです。二人来てください。2年生以外。
別に怖いことしません。

あの一、みんな見えているかな?大丈夫かな?

あと、もう一人2年生以外来てください。ちょっとこっち
にずれてもらってもいい【学生たちの立ち位置を指示】

よくテレビ番組で「特ダネ」とかフジテレビの番組でも「はい、おはようございます。きょうは何とかです。」
とかいって、よくやるショットはこんな感じで、あの、ニ
ーショットの集まり。さっきお話ししたのはこういうショッ
トが有りましたね。でも、実際問題 立っているか座つ
ているかは別として、対談番組と言うのは例えばこう
いう画を撮る訳です。こうやって、つまりこのショットば
かりだと顔の表情が分からないから、だいたいこう、僕



今カメラ一台しか持っていないからちょっとこうやると、2カメラ有るとこういう画を撮っているカメラと、こういう画
を撮っているカメラが有って、ここを撮ったりここを撮ったり、喋っている人に合わせて撮ってゆく。

それでセオリーとしてやっちゃいけないのは、こう撮っていて、こう撮っていてと切り替えるのは良いのだ
けれど、これ撮っちゃいけないというのが有る。つまり、渡辺さんは必ず左側にいたはずなのだよね。こうい
うショットが続いた場合、これが来るとびっくりするはずなのだよ。あれ、渡辺さん右になっちゃった。だから、
テレビ番組を見ているとよく分かると思うのだけれど、こういうショットは無い。これか、これです。後、渡辺さ
んが「私は実は告白が有ります。恋人で好きな人が出来ました。」とか言うときこれじゃ面白くない訳だよ。え
一、渡辺さんもっと近いところで、だから、これワンショット。こういうショットね。渡辺さんもしかして涙ぐんで
きたなんて言うとき「あー、涙見たい、涙見たい。」なんて。【カメラをズーム】

あの一、画のサイズというのはそういうのが有るから客観的には広い画。だけど、やっぱり表情が分かる為
にはだいたい2ショット位までですね。この位のショットまで、こっちで撮ったり、こっちで【ショットの例として学
生を映し出す】。たまに「ゴシ」って言ってさ、こう横からの画とかもあつたりしますよ。スタジオに4台か5台カ
メラ有りますからね。まっ、そういう映像の撮り方ですよ と言う話をしました。

どうして、真ん中2年生二人にしたかと言うと実はこういう画を絶対に撮らない訳ではないのですよ。撮る場
合が有る。どういときかと言うとき「放送研究部って最近部員凄いね。2年生ばかりがいるよ。」。そしたら、視
聴者は2年生が見たい。そうなると、いけないことやるわけですよ。「2年生はどういうリアクションしてい
るか?」って言う時にはこういう画からこういう画にはしないでしょ。渡辺さんが左から右に飛んじゃうかいら。
今ゴメンね、一台しかカメラ無いから、こうですけど、本当は2台ならカットインするわけですね。そういう
時はこういう画を撮っていて「2年生は」と言う話になったら一回引いちゃった後4人のショットを挟むわけ
です。こんな感じですよ、渡辺さんは右から2番目ですよっていうのを視聴者に分かった後で次に別のカメラ
でこれを撮る。と言う様な事をすると視聴者がビックリせずにすむと言う話です。結構いい時間になってきた
のでカメラの所は一旦こんなところにしておきます。4人はちょっと待ってね。有難うございました。

え一、意外に時間がたってしまった事に気づいて、ごめんなさい。ご協力頂いた方お礼の品を差し上げま

す。

有難うございました。(会場から学生に拍手)

ゴメンね。時間が無いので、後ささっと行きます。

4Kの話を興味有る人がいると思うので簡単にします。4Kと言うのは4,000本と言う意味です。「K」と言うのはキロメートルとかの「K」ですから、要はですね横方向の細かい画素の数が4,000ですよと言う意味なのです。じゃあ今のHDTV、地デジは何かと言うと2,000です。正確には1,920と3800いくつで、もう時間が無いから、要は今の地上波テレビは横方向が2,000、縦の走査線の本数と言う方をすると1,080だから今度は2,160になるので。縦方向の細かさね。それで、横方向の話ですからね「4K」と言うのはそういう意味だという事で、よろしいでしょうか。それで、何が言いたいかと言うと、簡単に言うとHDが4枚分の画素の細かさが有るという事ですね。だから、同じ画面だったら一粒・一粒が細くなるという事です。つまり、昔のSDTV。アナログの頃と同じなのです。アナログの頃横方向が約1,000無いのですよ。まっ、(約)1,000。縦方向が525本なんて言われて。これが525本。横方向約1,000。1,000も無いのだけれど。縦簡単に言うとSDからHDになった位の差が有る。もう一つだけ言っておかなければいけないのは、但し情報量は4倍ではなくて8倍なのです。どうしてかと言うのを出来るだけ分かり易く説明します。今度時間軸の方向なのだよね。今のテレビと言うのは1/30秒で1枚送るのです。1枚と言うのはこの上から下までこれ全部の画は1/30秒かかる。ところが4Kは1/60秒で1枚送ります。簡単に言うと、頻度が多いから画面の細かさは4倍。だけど、時間方向で今までのテレビより多く送るから8倍の情報量です。だから、地上で放送し難い。情報量多いとチャンネル一杯喰うのですよ。一文系の方に簡単に説明すると。と言う様な事です。また、詳しく知りたい人がいたらまたお話ししても。

それで、今旬なネタでこの後2018年12月になるとBSで4Kの放送が始まる予定です。日本テレビだけは1年遅れて2019年なのですけれど、それ以外の局さんは始まるので「これちょっと映るかな」(PPTを示して)リモコンボタンにこの「高度」と言うのが付くそうなのです。今、地上・BS・CSだけですけれど。こんな情報はまだ皆さんの方まで降りてないです。国の機関で今話し合われている。今度、「高度」と言うボタンを押すとこれが4Kです。

まあ、NHKは8Kと言い張っているので8Kの場合も有るから4Kと書かずに「高度」なのですけれど、8Kはさらにこれが4つ重なったものだと思ってください。それで、何が言いたいかと言うと今それで2018年12月に放送開始するに当たって、今度リモコンのボタン何番でどの放送局になるか今業者(間)で調整しています。

「BS10社会で最終確認される見込みとなっています。」と言って、これは5月ですからこれはもうそういう事になりそうです。と言う話です。

それで、大事な話。これもうここだけの話でなくていいと思うのですけれど、今BS放送を普通にやっているのに一つのトラポンを二人で使ったりするのですよ。このままだと4Kやる衛星のチャンネルが足りなくなっちゃうという事で「幅寄せ」ってお互い少し窮屈になりましょう。窮屈って言うと別にじゃあいいじゃないと思うけれど、簡単に言うと伝送する速度が落ちるという事なのです。だから、画質がちょっとBSは今度落ちますよって話をします。これがですね、BSは2018年12月に放送開始なのですけれど、この間総務省の課長さんが関西で講演した時に話したのですけれど「年明け早々にこの『幅寄せ』、狭くするのをやる」と「新しい人が来るのは来年のゴールデンウィーク位にやる」なんて事を言っているのです。BSが綺麗に見られるのは今年の12月・正月明け位までかな。以降容量がですね、簡単に言うとある24と言う速度を出せていたのが今度16と言うのになるので2/3になっちゃうのです。でも、そうやる事によってこのオレンジ色のBS4Kの

放送する衛星の送信機が中継器「トランスポンダ」って言うのですけれど、衛星の装置を空かすと。ここにいた人たちをどけてBS4Kが放送できるようにしますよって話をちょっと紹介しました。

それですね、今BS4Kまったくやってないかと言うとそんな事ない。試験放送というのをやっています、これは日本全国のNHKの放送局、帯広放送局なんかあるでしょう、京都放送局とか。そう言う所には一千万円を超える受信機が置いてあってですね、8Kも4Kも見られるようになっています。ただし、これは僕の所も含めて見られないです。どうしてかと言うと、受信機が一千万も超えるでしょ。じゃあ、それでもお金持ちが買うかと言うのだけれど、買ったもダメなのです。この方式では来年の12月から放送しません。新しいちゃんとした方式で放送するので今それを一生懸命メーカーさんとか国が頑張っているという事をちょっと紹介したい。それで、小田急沿線だと東海大の人はラッキーなのは「J:COM」ケーブルテレビさん有るでしょ、家にセットトップボックスある人は3月からこれサービス始めていて、その中の「ウルトラHD」か「スーパーHD」か分からないけれど、あるチャンネルにすると4Kが映りますよと言うサービスやっています。これ別料金は取らないというのは何らかのセットトップボックスが必要な契約をすでに結んでいる人はチャンネル296chか297chにすると4K見られます。という話を一つ紹介しておきます。これは、秘密じゃないので。

非常に時間が無い中申し訳ない、4Kの件はそんなところで終わりにしまして、最後就活の話をちょっとだけすると、こういうサイトを見に行ってください。例えば日本テレビの試験、今私持っていないですけど、時間軸で言うと去年の夏こんな事やりました、その後、今度11月にこんな事やりました。全部、ホームページに入ると各放送局こんな事やっています。ちょっと技術に特化しちゃってゴメンね。あんまり、技術じゃない人の為にならなくてごめんなさい。「理系の仕事ナビ」とかこんなふうな事やりました。なんと、タイムリーな事に今募集しているので。この中で3年生とかが居れば、実は4年生でも良いのですけれど、今ちょうど募集期間中で「技術の仕事はこんな事をやっていますよ」と言う話が有ります。

今、3年生とか4年生が新卒採用されるだけでなく、ここにちょっと書いて有ると思うのですよ。入社時26歳以下なので、修士で二浪の人、学卒だと四浪までの人とか新卒扱いで「受験」とは言わないか？ 入社試験受けられるようになっているので、昔のみたいに「あまり年を取っていると受けられない」と言う様な事が無いですよという事をちょっと紹介したかった。という事です。

もし、希望する人が居たら、別に就職を希望しなくてもいいのですよ、あの「テレビ局の理系の仕事はこんな事です」と言う様な事を知りたかったら、応募していただいて、こういう、さっきの技術ナビとかそういうのに参加したらいかがですかと言う話です。具体的には今年ね、7月23日にやるのだけれど、私の部署の若いのががんばっている子が担当したりするので、7月23日何人応募が来るか分からないので、一部で終わっちゃうか二部制なのかちょっと分からないのだけれど、7月23日体が空いている人がいたら応募してくれると、例えば日本テレビの仕事が分かりますよ。まっこんな感じで、去年やりましたみたいな話でした。今年の日本テレビの技術の新人だけちょっと紹介、紹介というのはなんだけれど6人入りました。(写真を示して)こんな感じの彼らですけど、オチャラケてますけれど。一番年上は27歳。26歳で入って27歳になった位ね。まあ、若い子だと22歳とかもいます。まあ、そんな感じで昔と違って4年間位、学卒だと4回位入社試験を受けるチャンスが有りますよと言うのをちょっと紹介しておきます。

それで、最後になります。私は面接官とかも何回かやっているのでですけど、日本テレビに限って言うとうちの名前は(面接官には)伏せます。何が言いたいかと言うと人事はもちろん皆さんからの履歴書、つまりエントリーシートが有るから東海大学か東京大学か分かるのですけれど、僕ら面接官には大学名はわざと伏せる。つまり「どこの大学出身かという事を色眼鏡で見ないでください。」という事で面接をやるの。東海

大学だからなんかちょっとね、世の中の例えば偏差値とかで低いから駄目だという事は、例えば思わなくても良い時代になっています。本人主義です。なので、自分が何かに挑戦していきたいと、恐らく日本テレビだけじゃないと思う。他の企業もどこどこ(大学)出身というのを隠して面接受けさせたりする時代になっているので自信をもって頑張ってください。詳しく聞きたい人は私の所へ来てほしいのですが、これは私人事から研修を受けたのですが、面接官の心得と言うのが有って「これから私は何をしたい」とか、「私はこう思っています」とか言っても意味ありません。どうしてか？「未来のことをわからないから」面接で何を言わなければいけないかという「私は何をやってきたか」。だから放送研究部でも良いし、何でも良いのだけれど、この4年間何をやってきました。そっちの事を評価してくださいと言われてました。それには、まあ、嘘つく人もいるかもしれないけれど、それは顔色見ればだいたい判るから、何をこの人達は今までやってきたかという事で評価しています。本を読んだりインターネットで勉強してきたら、「2年後は今度4Kの時代になります。私はその時代にこんな事やりたいです。」なんていうのは「どうせ出来る訳もないくせに」みたいな話ばかりまくしたてても何の意味も無いので「私は放送研究部の時代にこんな事やりました。」と言う様な話の方がよっぽどましだという話をちょっとしたい。

その中でも特に自分が苦労した話をしてください。つまり、「なんかこんな苦境にあったけれども何とかそこを成し遂げた。」みたいなエピソードをいくつか持っていた方が良いです。つまり、この子は何かあった時でも乗り越えられる子かどうかと言うのを見えています。「そういうのを見ろ」と言われています。大手は大概「面接はこう言う風にやりましょう」と言うコンサル会社が入っているので、どこの企業もそうだと思うので、ぜひ東海大学のこれからの就職、どこの会社でも結構。テレビじゃなくても良いのですが、「これからこんな事をしたい。」と言うのを持っていても良いのだけれど、同じ十分の面接の時間だったら「私は学生時代こんなことをやってきて、こういうのを乗り越えた実績が有ります。」という事を話した方がよっぽど良いですよと言う話をして。ご免なさい10分押しですが終わろうと思います。ご清聴有難うございました。

(会場より拍手)

〈 質疑応答 〉

《Q.》(学生 山崎寛季君)

山崎寛季です。HUTのお話をされていて、結構テレビのついている率が最近下がっているという話をしていたと思うのですが、広告にチョッと私は興味有って、広告代理店の方が「HUTが今ちょっと下がり続けている」ことについてどのように受け取っているかちょっと気になったのですが、

《A.》専門ではないけれどアメリカではニュースになって、既にテレビ広告費をネット広告費が抜いたそうです。日本ではそうなっていませんが、ただ、アメリカがそうなったという事は何年か後にはそういう時期が来るだろうという事で、間違いなく広告代理店もそう思っているし、テレビ局も危機感を感じていると思うのですが、ただ、文化の違いも有るからアメリカが逆転したからと言って今年・来年、直に(日本で)逆転するかと言うとそんな事は無いかも知れないのですが、アメリカはもともと有料で見ている人が多くて、テレビも、地上の無料ばかりを見ている文化は日本独特で。



どうせ有料だったという事でネットに行く率は結構アメリカの方が速いのではないかと分析しているアナリストも多い。日本はもうちょっと地上波はもつのではないかみたいな言い方もしていますけれど。すみません、答えになっていないかもしれません。そんな状況の様です。

《Q. 》(OB 海津昭さん)

「中継するときは細かい調整をしても(TV が)視られない所が有る」と聞いたことが有るのですけれどそういう場合はどういう風にするのでしょうか？

《A. 》99%とか 99.9(%)とか 100(%)には絶対ならないところが有ってですね、とくに別荘地の方で、群馬で苦勞したそうなのですが、最終的には「ワンセグ」と言う、今あまり皆さん視ないと思うのですけれど「携帯(電話)ならテレビ視る事が出来ますから、ここに関しては申し訳ないですけれども映らないです。」親切丁寧に説明して回りました。アナログの頃って結構ザラザラ(な画像)でも映っているか、いないかの判断は画が流れなければ分からなかったのですけれど、デジタルの場合はっきりしていて、ある一定以上の信号強度が無いと全く映らなくなってしまうので。ところがワンセグと言うのはご存知のように画質は落ちるのですけれど、かなりいろんな所で映るので、そういう最後これ以上中継局を作らないとなった地点で見ている世帯が有る所には一軒一軒ですね、最終的にはご理解いただくような活動を実はしていました。

《一同三浦さんに感謝の拍手をもって終了》

